

チアダンス/ダブルス減点規則

2017.11 改訂

	ルール・違反内容	チアダンス	ダブルス
1	●大会開催前にチームの出場辞退を書面で申請しなかった場合は、そのチームにペナルティが課せられる。		
2	●定められた選手の年齢が守れなかった場合 ●スポーツマンらしくない行動	失格	失格
3	●服装規定に違反した場合 【ユニフォーム】 ・ シースルは不可 ユニフォームの一部が肌色のものは可 ・ 下着が見えないこと ・ 取り外し可能なユニフォームは不可 ・ ルーズすぎるものは不可 ・ スポンサーのロゴを入れる場合は、クレジットカードサイズまで 【シューズ】 ・ ダンスシューズ（つま先と踵がカバーされているジャズシューズ・バレエシューズ） ・ 全員同じ色のシューズを使用 【髪型】 ・ ボブより長い場合は結ぶ（視野を妨げないようにする） ・ フラットピンのみ使用可 ・ 髪色は自然な色 【その他】 ・ 爪は短く切る。 ・ ストッキング、帽子、手袋の使用は禁止。	失格	失格
4	●演技内容の違反 ・ チアダンス【シニア・ジュニア】 チアダンス・ダブルス【シニア・ジュニア】各部門によりテクニックの演技規定要素が異なる。全選手で同時にあるいはリブルで実施していない。 ※演技中のけがでできなかつた場合は、減点対象外である。 ・ 定められた演技規定要素の種類は最低の数をあらし、その数が組み込まれていない場合は違反とする。（演技規定要素は審判方法を参照） ・ チアやチャント（チアリーディングのような声出し） ※ 前転・横回転・後転、ブリッジ、腰が一時的に他の上にくるモディファイ倒立（倒立で止まらない）ウオーム、ネックスタンド、キャンドル等のブレイクダンス要素は実施可能 ※ 地面上で座った状態やクラウチングの状態に相手を支える動作/最低片足で立った状態で相手にもたれかかる動作は実施可能。	規定要素を組み 入れている -10 回数が不足 -5	規定要素を組み 入れている -5 回数が不足 -2
5	●安全規則違反 ・ スタッツ、タンブリング（倒立、側転、バク転、飛び込み回転等）ピラミット、アクロバティックな動作（お尻が肩を越える動作）は禁止。 ・ 腰が肩を越えるモディファイ倒立。 ・ ダンスリフト ・ ジャンプ : 相手の体を（どの部分でも）飛び越えることはできない。 ジュニア1の部門はジャンプ後にスピリッツや膝で着地禁止。 ・ 衝突 : 体の殿パートでも選手同士がぶつかった場合は危険な演技構成であると判断する。 （チアダンス ジュニア1のみ -2）	各要素につき -10	各要素につき -5

6	<p>●時間規則違反1 (演技時間) チアダンス：2分15秒～2分30秒以内 ダブルス：1分15秒～1分30秒以内</p> <ul style="list-style-type: none"> 演技は全て音楽で構成されている。 演技エリア内で開始すること。 完全に静止した状態から開始すること。 最初の音楽からタイムの計測が始まる。 音楽と動作の両方が止まった時を持って計測が終了する。 	-10	-2
	<p>●時間規則違反2 (ボン使用时间)</p> <ul style="list-style-type: none"> 演技時間内、1/3以上はボンを使用 (男性は使用しなくてよい)→男性が使用するかは選択。 		
	<p>●時間規則違反3 (入場退場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入場の際、演技エリア内に入った時から演技が始まる前までの時間が30秒まで。それ以上減点。 ※入退場でアピールをすることは可能だが、ジャンプなどの技術を実施した場合違反となる。 	-5	-2
7	●ボンを落とす (演技構成でボンを投げる動作は対象外)	1回につき -1	1回につき -1
8	●ジュエリーやアクセサリを付けて出場した場合 【時計、ネックレス、イヤリング、ボディピアス,その他いかなる貴金属類は不可】	失格	失格
9	<p>●認められていない医療器具を使用した場合 【メガネ、補聴器などは演技中禁止。ギプスなどで固定した状態で演技は行えない。 (大会委員会の判断に従う)】</p> <p>●靴…ハイヒール</p> <p>●演技中に衣装を引き裂く</p>	失格	失格
10	●ラインオーバー：演技エリアは12m四方 (各々のステップオーバー)	1回につき -5	1回につき -2